



まつ だいら よしたみ しゅん がく こう き ねん ぶん こ

松平慶民と春嶽公記念文庫

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成18年2月28日(火)～5月7日(日)

江戸時代を通じて福井藩主の重責を担った越前松平家、その270年にわたる膨大な資料が現在、福井市内の県立図書館（松平文庫）・市立図書館（越国文庫）・当館（越葵文庫、福井市春嶽公記念文庫）に保管されています。松平家史料展示室では、越葵文庫（約3,000点）、福井市春嶽公記念文庫（約6,000点）の資料から、年6回のテーマで常設展示を行っています。今回、幕末維新期に活躍した16代藩主・松平春嶽の嫡男・慶民が、春嶽一代の資料の保存と活用を図るため、大正6年（1917）に創設した「春嶽公記念文庫」を取り上げ、設立の経緯や文庫の活動を紹介します。



松平春嶽嫡男・慶民

松平慶民の分家独立

文庫を創設した松平慶民は、春嶽の嫡男として明治15年（1882）に東京で生まれました。すでに越前家では、安政5年（1858）に春嶽が將軍継嗣問題に絡んで隠居を命じられると同時に、支族の糸魚川藩主・松平直廉（17代藩主・茂昭）が継ぎ、慶応3年（1867）には嫡男・康荘が生まれました。そうした事情の中で、旧臣たちの願いもあって慶民を康荘の相続人とする措置がとられました。しかし、成人した慶民は一族紛糾の原因になることを避けるため、英国留学中の明治39年（1906）、相続解除の手続きをとって一家を創立しました。その後、世田谷野戦砲兵第一連隊に入隊し、除隊後に結婚（幸子夫人）、大正元年（1912）から宮内省に入って侍従に任ぜられ、以来36年間、宮中に奉仕しました。昭和23年（1948）没。

春嶽公記念文庫の創設

英国より帰国直後、慶民は実母ふぢから春嶽自筆の秘書『逸事史補』（幕末の裏面史で春嶽が焼却を命じていたもの）を受け取り、にわかに春嶽の事蹟を明らかにしようとの気持ちを抱きました。また、数々の遺品に触れる中で春嶽の伝記編纂と資料の保存・活用を決意し、大正6年に慶民を主宰者、康荘と慶民の実弟で尾張徳川家を継いだ義親の2人を顧問とする「春嶽公記念文庫」を自邸内に創設しました。

文庫の活動

邸内の事務所には、旧藩関係者からなる委員や幹事が配置され、収蔵品の整理や関係資料の調査にあたりました。しかし、伝記編纂のためには広く資料を調査する必要から、旧藩地の福井にも事務所が置かれることになりました。当時、康荘が旧福井城内に松平試農場を開設し、その隣接地に邸宅を構えていたことから、康荘の全面的な協力により邸内に福井事務所が置かれました。この両事務所の連携により、文庫員が各地に出張して調査を行い、それらを影写本として採録しました。大正12年頃までに、調査先は福井市71家・東京50家をはじめ、福井県内外236家に及び、大正9年刊行の『福井県史』に先行する本格的な資料所在調査として大きな役割を果たしました（その際の影写資料は現在、国文学研究資料館に「越前史料」として保管されています）。

主目的である伝記の編纂は、最初「春嶽公伝編年史料」として計画され、のちに『松平春嶽全集』（全4巻）として刊行されました。これは今日、春嶽を研究する上の基本資料となっています。また、文庫では地道な調査活動の成果を活かして、大正6年9月「春嶽公異嶽公史料陳列会」（会場：日本赤十字社福井支部、福井市図書館）を開催したほか、昭和10年「橋本左内生誕百年記念展覧会」（景岳会主催 会場：東京白木屋）、翌11年「松平慶永・徳川慶勝公遺品遺墨展覧会」（徳川美術館主催）への出品協力や、文部省内に設置された「維新史料編纂会」の編纂事業を側面から支援するなど、文化面で幅広い活動を展開しています。

慶民没後、文庫資料は嫡男の永芳に継承され、半永久的な保存と活用を図るため、昭和45年から4次にわたって福井市へ寄贈されました。市では旧来の文庫名を踏襲し、「福井市春嶽公記念文庫」として今日に至っています。

展示品目録

資料名	員数	所蔵	備考
1 松平春嶽肖像画	1 幅	越葵	
2 松平茂昭肖像画	1 幅	越葵	
3 松平康荘筆「身をやすく保つ心も云々」の和歌	1 幅	越葵	
4 松平康荘肖像写真	1 額	越葵	
5 徳川義親遺愛の石製獅子	1 点	春文	
6 松平慶民肖像写真	1 点	春文	
7 松平慶民筆 春嶽公記念文庫設立奉告文	1 巻	春文	大正6年6月2日付
8 松平春嶽著「逸事史補」	1 冊	春文	
9 春嶽公記念文庫趣意書	1 点	春文	
10 春嶽公記念文庫竹製標札	1 点	春文	
11 春嶽公記念文庫木印・ゴム印	2 点	春文	
12 春嶽公記念文庫カード整理筆筒	1 基	春文	
13 春嶽公伝編年史料	9 綴	春文	未整理稿
14 『松平春嶽全集』献呈添書	1 枚	春文	
15 『松平春嶽全集』第4巻初校本	1 帙	春文	
16 有栖川宮熾仁親王筆「至誠如神」の書	1 幅	春文	大正6年表装、慶民箱書
17 文庫影写資料「越前国大野城破損修復之願」	1 幅	春文	原本：元禄8年 大正10年写
18 文庫影写資料「福井城下眺望図」	1 巻	春文	原本：寛政年中 大正7年写
19 文庫影写資料	1 括	春文	
20 中根雪江墓石拓本二曲屏風	1 隻	春文	大正7年頃採拓
21 文庫撮影写真原板	1 括	春文	
22 天賜 毛植白馬	1 点	春文	明治19年慶民初参内時（5歳）
23 天賜 小筆筒	1 点	春文	明治23年頃
24 松平慶民宛爵記	1 通	春文	明治39年9月17日付
25 薩摩焼紫陽花模様御花瓶	1 点	春文	昭憲皇太后
26 カットグラス御花瓶	1 点	春文	昭和9年夫人に下賜
27 七宝若松の図御花盛器	1 点	春文	貞明皇后
28 天賜 御手沢蒔絵御硯箱	1 具	春文	昭和23年6月宮内府長官退任時
29 松平慶民所用 運転免許証	2 点	春文	明治40年、昭和9年交付
30 松平慶民所用 パイプ・パイプ立	1 式	春文	
31 松平慶民所用 煙草入	1 点	春文	
32 松平慶民所用 班紫銅インキ壺	1 点	春文	
33 松平慶民所用 携帯用ウスキーボトル	2 点	春文	
34 松平慶民所用 龍模様硯箱	1 式	春文	
35 松平慶民所用 木製両袖机	1 式	春文	

* 資料保存のため、展示物が入替わる場合があります。

越葵：越葵文庫、春文：福井市春嶽公記念文庫

見どころ講座

「松平慶民と春嶽公記念文庫」

日時 平成18年3月11日(土) 午後2時～
場所 講堂（2階）
担当 西村 英之（当館学芸員）

次回の展示

松平春嶽とその家族たち

5/10(水)～7/18(火)

展示解説シートNo.17 平成18年2月28日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 西村 英之